



ぬくもりと安心 電波にのっけて

つむぐ つながる コミュニティ FM

市 民参加型のコミュニティ FM「Hello! NEW 新居浜 FM78.0」がスタートし、今年で3年目。あかがねミュージアム内にスタジオを構え、地域活性化の起爆剤として、また防災・災害情報を的確に伝達するためのツールの一つとして、より地域に食い込んだ、ローカル色の強い情報を届けてきました。

合言葉は「みんなでつくる にぎわいラジオ」。大人も子どもも、作る側も聴く側も、新居浜を愛する「みんな」のためのラジオです。コミュニティ FMならではの楽しさ、いざという時の活用法を、まずは知ってください。



2018年4月、あかがねミュージアムで行われた開局式

?? コミュニティ FM (放送)

「コミュニティ」とあるように、放送エリアを市町村単位に限定したラジオです。地域の話や行政・観光・交通などの地域に特化した情報を発信するメディアとして、1992年に制度化されました。市販のラジオやカーラジオでも聴くことができ、通常は地域密着の番組を、災害時にはきめ細かな情報を発信するツールの一つとして活用されています。

市は2018年、地元ケーブルテレビ事業者のハートネットワークとタッグを組み、「Hello! NEW 新居浜 FM78.0」を開局しました。

☎ 秘書広報課 ☎ 65-1251 ☎ 65-1217

いざという時、頼れる存在に

小柄で大きな瞳、弾むような声が印象的な眞弓莉沙子さん。Hello! NEW 新居浜 FM78.0 の看板パーソナリティーにして、開局以来、このラジオを育ててきた母のような存在です。なくてはならない「顔」ながら、「目立たず、皆さんに情報が届くまでの通過点でいいんです」と控え目に語ります。

ゼロからのスタート

神奈川県藤沢市出身。中学時代、文芸部での活動が人生を決定づけました。文芸とは名ばかりで、校内放送、学校の課題を突き詰めるドキュメンタリー映像制作など活動は放送部そのもの。中でも、心ひかれたのが映像制作でした。高校、大学とも映像制作に触れられる学校を選び、大学ではテレビの研究グループに所属。大学の広報番組を担当し、地元ケーブルテレビで番組を流してもらいました。

その経験を生かそうと、2017年、株式会社ハートネットワークに入社。縁もゆかりもない新居浜へ移り住みました。番組制作や営業など一通りの業務を経験し、半年後、あかがねミュージアム配属となりました。

翌年にコミュニティFM開局を控えていましたが、中身はほぼ白紙状態。やることは山積みでした。ラジオ制作は経験も知識もなく、機材を触ることすら初めて。すでに市民パーソナリティーの募集が始まっていたため、マニュアル作りも必要でした。「何とかせなかって、できることをしていたら、いつの間にかラジオの人になってました」

孤軍奮闘の末、スタートしましたが、全ては手探り。音量はどのくらいがベストか、間はどうつなぐ



パーソナリティー ^{まゆみ りさこ} 眞弓 莉沙子 さん

のか、ニュースはどんな風に話せばいいのか。他局の番組やパーソナリティーの話し方を研究し、できそうなことは全部盗んでいきました。

ラジオが出会いの場

少しずつ携わってくれる人が増える中、市民ボランティアの一人から、うれしい言葉をもらいました。「ラジオを通じて出会いの場が増えたよ」。胸がいっぱいになりました。企業も行政も、市民みんなが関わり、にぎわいを生み出すラジオでありたい。その願いを象徴する言葉をもらった気がしたから。

もちろん課題もあります。市民のなじみが薄く、まだ知らない人が多いということ。「災害時、『コミュニティFMを聴こう』と思うには、普段から親しんでいないと難しい。いざという時にラジオをつけてもらえるようにするのが、私たちの役目です」。静かなトーンで、熱い思いを明かしました。

眞弓さんのとある一日

7:30



朝から生放送。前日の野球の勝敗など、情報をかき集めて本番に備えます

9:30

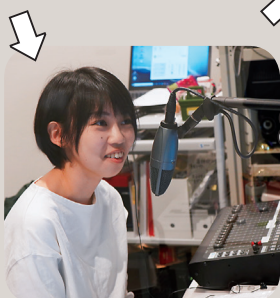


市民パーソナリティーの収録をお手伝い。打ち合わせ中から笑顔が絶えません

15:40



取材を終え、事務所で動画を編集。ラジオにも気を配り、トラブルがあればスタジオへ走ります



8:00

55分間の生放送がスタート。一日の始まりを、爽やかな声で後押しします

13:00



この日はケーブルテレビで流すイベントの取材も。慣れた手つきでカメラを準備します

17:30

夕方の生放送を確認し、この日の仕事は終了!

多彩な番組 **こだわり**満載

市民パーソナリティーが**活躍**

Hello! NEW新居浜FM78.0には現在、22人の市民パーソナリティーがいます。日々の暮らしのことを話したり、地元の魅力を発掘したり、好きなミュージシャンの曲を流したり…。子どもから大人まで幅広い年代の

人たちが、それぞれのこだわりをもって、番組作りに挑戦しています。

そんな番組作りの舞台裏をのぞいてみました。

子どもの番組 生放送に密着 伸び伸び**自由**に **そこ**が面白い

地元の子もたちが機械操作からMCまでを担う「あかがね放送局」。伸び伸びとした自由なトークで愛されている番組の一つです。毎月第2、第4土曜の午後3時から30分間、ラジオとケーブルテレビで同時生放送しています。

眞弓さんがサポートするとはいえ、果たして子どもだけで番組作りなどできるの？ 一体どんな風につくっていくんだろうー。10月31日、スタジオに潜入しました。



メンバー

- | | | | | |
|------|---|-----------------------------------|---|----|
| ベテラン | } | 伊藤 ^{そら} 天 さん (新居浜工業高1年) |] | 姉妹 |
| | | 寺本 ^{まなみ} 愛海 さん (新居浜西高1年) | | |
| | | 寺本 ^{はるか} 春香 さん (東中3年) | | |
| | | 片上 ^{さら} 沙羅 さん (中萩小5年) | | |



寺本 春香さん

寺本 愛海さん



片上 沙羅さん



伊藤 天さん



メンバーは4人。前身のケーブルテレビ番組から5年ほど出演しているという**ベテラン**ぞろいです。

この日はハロウィーンとあって、寺本姉妹が魔女の帽子や猫の耳飾りなどを持参。メールテーマを記したボードを、ハロウィーン仕様に飾り付けていきます。機材室にもレース付きの帽子がそっと置かれ、「これは…誰が持ってきたんでしょうね」と伊藤さん。戸惑いつつも、ちゃっかりかぶり、さあ本番。

「**ハッピーハロウィーン!**」。いつものタイトルコールとは一味変え、番組が幕を開けます。さすが年数を重ねてきただけあって、序盤から**息の合ったトーク**。機械担当の伊藤さんも危なげなく、音声レバーを上げ下げするタイミングは完璧です。

それぞれが近況報告やハロウィーンにちなんだエピソードを披露。参加して1年未満という片上さんは「友達とのお泊まり会が**楽しみ**」とはにかみ、ほんわかと場を和ませます。

「**邪道**だけど、差し入れも**楽しみ**で」と春香さん。この日も本番中、リスナーからお菓子の差し入れが届きました。4人のテンションは急上昇し、急きょ**「食レポ」**が**スタート**。食感やおいしさ、パッケージに至るまで、丁寧に紹介していきます。

曲を流している間も、テレビ用の映像は流れる仕組み。「みんな踊る?」。女子3人がおもむろに席を立ち、カメラの前でダンス。自由気ままですが、どこか憎めないのが不思議です。「カチツとしてなくて崩れてしまうんだけど、それが**自然でいい**」というリスナーの言葉もうなずけます。

時に沈黙が続く場面もありますが、年長組が話を振り、うまくつないでいくとか。「ラジオを通じて、地元のいろんな情報が入ってくる。**地元愛が強まった気がします**」とは愛海さん。ゆるりと進む30分間には、子どもならではの瞬発力と柔軟さ、地元愛が詰まっていた。

若者の視点生かして

「伊藤天の FIVE JUST MUSIC!!」(第3回 17:30～)

母の影響で、幼いころから身近にあった音楽。30分にわたり、気になるミュージシャンをみっちり紹介しています。

中学1年生のとき、自ら手を挙げ、番組を持つことになりました。「自分の気持ちをばっと出したい」。それが最初の動機。SNSでの発信よりも、ちょっと「気軽」なところに魅力を感じました。「『いいね!』やフォロワーの数を気にしないでいい。もしかしたら誰か聴いているかも、くらいが心地良くて」

「出てみん?」。ラジオには興味ないと思っていた同級生にも声を掛けてみました。思いのほか反応が良く、一度に8人が出演してくれたことも。次回出演を心待ちにしてくれる子も現れ、「ラジオでつながれたみたいでうれしかった」。

新型コロナウイルスの影響で、大人数の収録はかなわなくなりました。でも気持ちを切り替え、大好きな音楽を深く紹介することに。曲に込められた思いを調べ、一度飲み込んでから、「自分風に変換して」紹介。大事にしているのは、いかに自分のカラーにするか、ということです。

「若者だからこそできる番組を作りたい」。高校1年生にしが見えない、古里の良さもあるはず。「ラジオはもう一つの居場所。ずっと続けていきたいです」



新居浜工業高1年
伊藤 天さん



ラジオへと導いた
音楽好きの母 かおりさん

番組が決まったときは、めちゃくちゃ喜んでいましたね。家でも台本を書いたり、曲の構成を考えたり…。その分勉強は苦手。先生に注意されても、しぶとく続けています。周りへの感謝を忘れず、そのまま好きなことを続けてください。

いつも耳にする、あの番組のパーソナリティーはどんな人? 気になる「あの人」の素顔に迫りました。ラジオでつながった、ラジオへつなげた人のメッセージも添えて。



主婦
大林
ハルミさん



元リスナーが出演
俳句コーナーで講評 ペケポンさん

最初はリスナーとして投稿する側。大林さんに誘われ、講評を引き受けました。大林さんはとても気遣いができる人。毎回いろんな句に出会い、自分の世界が広がりました。お誘いに感謝です!

ホッとできる時間を

「はるカフェラジオ」
(毎週水 16:00～、Hello! NEW 新居浜 LIVE 内)

「はるカフェラジオ、オープンです」。週半ば、大林さんの穏やかな声が夕刻の訪れを告げます。仕事に家事にせわしない時間帯。優しい語り口でそっと寄り添います。

カフェにいるようなホッとする時間にしたい。番組名には、そんな思いを込めました。話題は明るく、四季を感じられるもの。ふと耳に入ってきてても邪魔をしない、「BGMとして聴けるラジオ」を心掛けています。

5年前、退職を機に生まれ育った新居浜に帰ってきました。不便で何もなかったと思っていた古里。でも、久しぶりに暮らしてみると、新しい発見がいくつもありました。生活しやすく、楽しいスポットがあり、面白い人たちにも出会える。「新居浜のことをもっと知ってほしい」。以前の自分のように、何もなかったと思っている人たちにも。

ラジオデビューは2年前。料理や俳句のコーナーを設けたほか、市内を散策し、知られざる郷土の魅力も伝えています。機材トラブルで音が出ず、眞弓さんが飛んでくることもしょっちゅう。「そろそろきちんとなきゃ」。表情を引き締め、パーソナリティーの責任感をのぞかせました。



まちの盛り上げ役に

「NonNom. のナニコレ発見!!」(毎週^土 16:30～)

力強く、優雅に舞い踊るパフォーマンスで観客を魅了する2人ですが、ラジオでは一転。おっとりとしたユリカさんに齋藤さんが優しく突っ込むという、何ともゆるいトークでリスナーの心をわしづかみにしています。

齋藤さんは元劇団員。けがで引退しましたが、ファンの熱い声を受けて活動の場を探していました。知人の誘いで新居浜に移り住み、たまたま目にしたユリカさんのダンスに感動。ユニットを組みたいと、すぐにユリカさんが営む「クールスダンススタジオ」の門をたたきました。

「生徒希望かと思っていた」とダンサー兼インストラクターのユリカさん。突然の訪問に驚きつつも、「新居浜を盛り上げたい」という齋藤さんの思いに共感しました。



2人の掛け合いが好き
ヘビーリスナー 酒井さん

2人がラジオを始めたときからのヘビーリスナーです。2人の番組はまるで漫才のよう。インテリ系の齋藤さんとゆるくて天然のユリカさん。身近な疑問をテーマに話す2人の掛け合いが楽しく、ほっこり和みます。

NonNom. (のんのむ)

北海道出身の齋藤定彦さん(写真右)と新居浜市出身のyurika(ユリカ)さんによる和装パフォーマンスユニット。今年で結成5年目。

いざユニットを組んだものの、一向に名前が決まりません。そんな時、齋藤さんが何気なく「俺ら名前が無いやん。名前が無い…あ、NO NAMEは?」と一言。「どっかの外国語で名前が無いっていう意味」のNonNom.に決まりました。

ラジオは開局当初から出演。シンガー・ソングライターから企業の社長まで多彩なゲストを迎え、身近な情報を幅広く届けています。台本は作らず、ぶつつけ本番が基本。ユリカさんがガチガチになり、持ち味の自由なトークができなくなるからだそう。ラジオを通じ、「人の輪が広がって、いろいろな人に会えた」とほほ笑む2人。パフォーマーとして、ラジオパーソナリティーとして、今日も町に元気を届けます。

トーク軽やか 際立つ個性



ね わおん
「ココロ音ラジオ 和音」

(毎週^日 12:00～12:30 / 16:00～16:30)

10月

ラジオならではの「音」を巧みに使いながら、乳幼児から大人まで幅広い人が楽しみながら聴き、子育てについて考えられる番組です。豪華ゲストの出演も聴きどころの一つ!



(株式会社タイタン提供)

爆笑問題がゲストに!!

放送は、

① 12月27日^日 12:00～

② 令和3年1月3日^日 12:00～

【爆笑問題プロフィール】

田中裕二さん、太田光さんによるお笑いコンビ。政治から芸能界までさまざまな社会現象を斬る漫才は、若者だけでなく、幅広い年齢層に支持されています。

プログラム いろいろ

他にもバラエティーに富んだ番組を放送中です。



「にいほま朝録れラジオ」

(毎週^月～^金 8:00～8:55)

新居浜の話題、出来事、市からのお知らせなどを、朝から生放送で届けます。市職員らが出演し、知ってほしい事業やイベントの告知などを伝える「こんにちは市役所です」のコーナーも。



「Hello! NEW 新居浜 LIVE」

(毎週^月～^金 12:00～12:55 / 16:00～17:30)

県内のニュースや天気情報など役立つ情報を、曜日ごとに替わる個性豊かなパーソナリティーが紹介。野球や音楽など、それぞれが考えた独自企画が楽しめます。愛媛県住みます芸人のひめころんさん(^金夕方)、新居浜市出身のタレント高見知佳さん(第2・4^日)、山本清文さん(^土昼・夕方)も参加しています。

みんなの命を守るために



災害が起こったとき、停電しても、カーラジオや電池式の受信機などで情報が得られるとして、ラジオの重要性があらためて注目されています。

東日本大震災や熊本地震ではコミュニティFMを通じ、連日にわたって被害状況や安否情報などが伝えられ、被

災地での大きな情報源となりました。

地震や豪雨、台風一。災害はいつ起こるとも知れませんが、Hello! NEW 新居浜 FM78.0 も、皆さんの安全を、命を守るために生まれました。緊急時には、住民に寄り添い、災害時に役立つ情報を発信します。

刻々と変化する状況を、いち早く、正確に

緊急時には、通常の番組が流れていても中断。緊急地震速報や避難準備情報などを割り込み放送します。その後は市役所と緊密な連携を取り、1時間に1回程度、避難所の開設状況や主要道路の通行状況など、タイムリーな情報を正確に伝えます。



地震です！地震です！
落ち着いてまず身の安全を確保してください。

新居浜市に〇時〇分、
大雨洪水警報が発表されました。

新居浜市の〇時現在の
積算雨量は、一宮町で●mm、多喜浜で●mm...

慌てて外に出ると、危険です！
落下物や倒れてくるものにご注意ください。車を運転中の人は、ゆっくりとスピードを落とし、道路の左側に車を止めてください！

先ほど〇時〇分ごろ、地震がありました。震源は●沖で、震源の深さは●キロ。マグニチュードは●と推定されています。

緊急時には
赤く点滅



緊急情報
です!!



防災ラジオ

非常時の情報を真っ先に知らせる

皆さん、「防災ラジオ」って知っていますか？ 一般に市販されているものとは別で、緊急時には電源を切っても自動的に起動し、最大音量で災害の発生を知らせます。真っ先に情報を得ることができるため、逃げ遅れるかもしれないという不安も軽減されます。防災対策の一助として、一家に一台、常備しませんか。

購入場所 ハートステーション

新居浜テレコムプラザ店 9:00 ~ 18:00
(土・日・祝は 10:00 ~ 17:00)

イオンモール新居浜店 9:00 ~ 19:00

販売対象者 市内に住所を有する人

販売価格 3,000 円 (税込み) / 1 台
(希望小売価格 9,000 円・税抜き)

注意事項 購入の際は、手持ちのラジオなどで設置予定箇所の電波状況を事前に確認してください。周辺の建物や建物の構造などにより受信しにくい場合があります。



スマホでも、パソコンでも

ラジオがないと聴けない。そんなことはありません。お持ちのラジオやカーラジオはもちろん、市公式スマートフォンアプリ「新居浜いんふお」やインターネット (<https://www.jcbasimul.com/radio/860/>) で、いつでも聴くことができます。

コミュニティ FM の送信出力は原則 20W までと決められていて、地域の FM 局と比べ、かなり弱い電波でしか放送ができません。そのため、近くに山やビルがあるなど、住宅環境によっては電波が入りづらいことがあります。そんな場合はアプリやインターネットを活用してください。

スマートフォンアプリ「新居浜いんふお」



アプリ
iOS

アプリ
Android



ここを
クリック

インターネット



ここを
クリック

必要なのは、新居浜愛だけ

求ム！
市民パーソナリティー



最初は番組を聴いてみることから。「自分ならこんな番組にしたい」「この話を聴いてほしいな」。そんな思いが芽生えたとき、今度は発信する側として、Hello! NEW 新居浜 FM78.0 を活用してください。みんなの力で、新居浜をもっと面白くしましょう！

市民パーソナリティーは随時募集しています。応募条件などの詳細は、ハートネットワーク (☎ 32-7777) までお問い合わせください。